

令和 7 年第 4 回 新座市教育委員会 定例会

会 議 録

|                  |                             |                   |   |                                                                                                                              |      |                  |           |     |   |
|------------------|-----------------------------|-------------------|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------------|-----------|-----|---|
| 招 集 期 日          |                             | 令和7年4月24日 午後3時    |   |                                                                                                                              | 場 所  | 市役所本庁舎203・204会議室 |           |     |   |
| 開 閉 日 時<br>及び宣告者 |                             | 令和7年4月24日 午後3時    |   |                                                                                                                              | 開会   | 宣告者              | 金子 廣志     |     |   |
|                  |                             | 令和7年4月24日 午後3時47分 |   |                                                                                                                              | 閉会   | 宣告者              | 金子 廣志     |     |   |
| 教育長              |                             | 金子 廣志             |   |                                                                                                                              |      |                  |           |     |   |
| 委<br>員           | 議席番号                        | 氏 名               |   | 出・欠                                                                                                                          | 議席番号 | 氏 名              |           | 出・欠 |   |
|                  | 1                           | 小 泉 哲 也           |   | ○                                                                                                                            | 2    | 宮 瀧 交 二          |           | ×   |   |
|                  | 3                           | 森 家 明 味           |   | ○                                                                                                                            | 4    | 児 玉 裕 子          |           | ○   |   |
| 出<br>席<br>職<br>員 | ①教育総務部長                     |                   | ○ | ②教育総務部副部長兼生涯学習スポーツ課長                                                                                                         |      | ○                | ③教育総務課長   |     | ○ |
|                  | ④中央公民館長                     |                   | ○ | ⑤中央図書館長                                                                                                                      |      | ○                | ⑥歴史民俗資料館長 |     | ○ |
|                  | ⑦学校教育部長                     |                   | ○ | ⑧学校教育部副部長兼教育支援課長                                                                                                             |      | ○                | ⑨学務課長     |     | ○ |
|                  | ⑩教育相談センター室長                 |                   | ○ |                                                                                                                              |      |                  |           |     |   |
|                  | 事務局 教育総務課副課長 生田目、教育総務課主事 野口 |                   |   |                                                                                                                              |      |                  |           |     |   |
| 会議事件名            |                             | 発 言 者             |   | 発 言 の 要 旨                                                                                                                    |      |                  |           |     |   |
| 開会               |                             | 教育長               |   | 令和7年第4回新座市教育委員会定例会を開会する。<br>午後3時                                                                                             |      |                  |           |     |   |
|                  |                             | 教育長               |   | まず初めに、4月1日付けで新たに児玉 裕子氏が本市の教育委員に任命されたので、御紹介する。児玉委員から御挨拶を頂きたい。                                                                 |      |                  |           |     |   |
|                  |                             | 委員                |   | 4月1日から教育委員を拝命し、8年ぶりに新座市の教育の現場に戻ってきた。今まで陰ながら応援していたが、これからは表で応援させていただきたいと思う。よろしく願います。                                           |      |                  |           |     |   |
|                  |                             | 教育長               |   | 続いて、教育長職務代理者の鈴木松江氏が退任されたことに伴い、小泉哲也委員が教育長職務代理者に就任されたので、御紹介する。小泉委員から御挨拶を頂きたい。                                                  |      |                  |           |     |   |
| 会議録承認            |                             | 委員                |   | 教育長職務代理者を拝命した。今後ともよろしく願います。                                                                                                  |      |                  |           |     |   |
|                  |                             | 教育長               |   | 令和7年第3回新座市教育委員会定例会の会議録の承認について質疑はあるか。                                                                                         |      |                  |           |     |   |
| 議案第14号           |                             | 各委員               |   | 承認                                                                                                                           |      |                  |           |     |   |
|                  |                             | 教育長               |   | 令和7年第3回新座市教育委員会定例会の会議録は承認された。                                                                                                |      |                  |           |     |   |
| 議案第14号           |                             | 教育長               |   | 議案第14号「新座市就学支援委員会委員の委嘱について」を教育相談センター室長から説明願う。                                                                                |      |                  |           |     |   |
|                  |                             | 教育相談センター室長        |   | 新座市就学支援委員会委員については、新座市就学支援委員会条例により2年間の任期で委嘱を行っており、本年度委嘱2年目となるため、欠員分の委嘱を行うものである。今回は、異動等で欠員になった教職員、関係機関の職員について、役職を引き継ぐ形で選出している。 |      |                  |           |     |   |

|        |                   |                                                                                                                                                                   |
|--------|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 議案第15号 | 教育長<br>各委員<br>教育長 | 議案第14号について、質疑はあるか。<br>承認<br>議案第14号を承認する。                                                                                                                          |
|        | 教育長               | 議案第15号「新座市医療的ケア運営協議会委員の委嘱について」を教育相談センター室長から説明願う。                                                                                                                  |
|        | 教育相談センター室長        | 新座市医療的ケア運営協議会委員については、新座市により2年間の任期で委嘱を行っており、新座市医療的ケア運営協議会要綱に基づいて委嘱を行うものである。朝霞医師会により推薦のあった医師、養護教諭主任会の校長、管理職、学校看護師配置校の養護教諭、関係行政機関の職員について、昨年度よりメンバーを変えずに引き継ぐ形で選出している。 |
|        | 教育長<br>委員         | 議案第15号について、質疑はあるか。<br>医療的ケア運営委員会の役割というのを説明願いたい。どういうときに委員会が開催されるのか。                                                                                                |
|        | 教育相談センター室長        | 1学期と3学期の年に2回開催している。運営協議会については、昨年度、医療的ケアを受けたいという保護者の申請があった。それ以前より医療的ケアの受入れについて検討しているところだったが、本格的にガイドラインを策定し、運営協議会の設置要綱を整えて、昨年度の10月から設置をしている。                        |
|        | 教育長               | 医療的ケア児を受け入れるに当たって、学校の体制や、看護師を配置する際の勤務時間、勤務の形態というところを確認していく。また、安全に医療的ケアが行われる運営になっているかどうかというところを学校に助言したり、学校からの相談を受ける組織となっている。                                       |
|        | 教育相談センター室長        | 日常的に医療的ケアが必要な児童生徒を学校が受け入れる際にどのようなケアをするかということを審議するのか。                                                                                                              |
|        | 教育長               | 医療的ケアを希望する児童・生徒及び保護者の状況や学校の体制について審議する組織である。                                                                                                                       |
|        | 教育相談センター室長        | 医療的ケアとは具体的にはどういう種類なのか。<br>例えば胃ろう、気管切開によるたん吸引、インスリン注射等である。                                                                                                         |
|        | 教育長               | 日常的に学校に通学している児童に定期的に医療的ケアを行う看護師を派遣するということか。<br>今は2時間で週5日、2人の看護師がついている状況である。                                                                                       |
|        | 教育相談センター室長        | 医療行為なので、養護教諭はできないということか。<br>胃ろうやたん吸引は、研修を受けた教職員がやってもよいことにはなっているが、注射に関しては看護師か自己注射か家族かということなので、看護師を入れることになる。                                                        |
|        | 教育長<br>委員         | 他に質疑はあるか。<br>今回医療的ケアを受ける方が1人いたということで対                                                                                                                             |

|        |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|--------|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 議案第16号 | 教育相談センター室長 | <p>応されたと思うが、体系的に全ての学校に置いていこうということになっていくのか。それとも都度、入学した子に合わせて対応していくという方向性なのか。</p> <p>その都度である。体制としては、様々な体制が考えられる。このガイドラインを立ち上げるに当たって、3つの体制を考えた。訪問看護師へ依頼、外部の委託、会計年度職員で運営する方法である。庁内の様々なところと調整し、今は会計年度でやっている。</p> <p>今後も保護者の要望があれば対応していくが、実際に看護師がその都度見つかるかどうかという課題は、大きな課題だと思っている。</p> |
|        | 委員         | <p>保護者は、どのタイミングでこのようなシステムがあり、申請できると知ることができるのか。</p>                                                                                                                                                                                                                              |
|        | 教育相談センター室長 | <p>障がい者福祉課が、医療的ケアについての相談窓口の一つに教育相談センターを挙げている。就学に関しては直接連絡が入ったり、児童発達支援センターのアシタエールからの情報があったりする。</p>                                                                                                                                                                                |
|        | 教育長        | <p>対象児童がいた場合は、ケアをしていくということで、全ての学校に看護師を配置することは考えていないのか。</p>                                                                                                                                                                                                                      |
|        | 教育相談センター室長 | <p>要望があってから、配置を検討していく。</p>                                                                                                                                                                                                                                                      |
|        | 教育長        | <p>他に質疑等がなければ、議案第15号を承認としてよいか。</p>                                                                                                                                                                                                                                              |
|        | 各委員        | 承認                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|        | 教育長        | <p>議案第15号を承認する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                             |
|        | 教育長        | <p>続いて、議案第16号「新座市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について」を教育相談センター室長から説明願う。</p>                                                                                                                                                                                                                   |
|        | 教育相談センター室長 | <p>新座市いじめ問題対策連絡協議会条例により、2年間の任期で委嘱を行っている。委員の構成は学識経験者、児童相談所職員、埼玉県警察警察官、教育職員、教育委員会事務局職員である。</p>                                                                                                                                                                                    |
| 専決処分   | 教育長        | <p>議案第16号について質疑はあるか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                        |
|        | 各委員        | 承認                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|        | 教育長        | <p>議案第16号を承認する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 専決処分   | 教育長        | <p>専決処分「新座市立学校運営協議会委員の委嘱について」を学務課長から説明願う。</p>                                                                                                                                                                                                                                   |
|        | 学務課長       | <p>1の8件については、昨年度、任期を2年間として委嘱を行った大和田小学校をはじめとする8校において、令和7年度当初人事異動により校長が着任したため、任期を前任者の残任期間である1年として委嘱したものである。</p> <p>2の野寺小学校については、今年度より新たに任期2年とし委嘱したものである。</p>                                                                                                                      |

|            |                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------------|----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>諸報告</p> | <p>教育長<br/>各委員</p> <p>教育総務課長</p> | <p>3の第四中学校については、任期途中での退任に伴い、任期を前任者の残任期間である1年として委嘱したものである。</p> <p>4の八石小学校については、今年度より新たに任期2年とし委嘱したものである。</p> <p>本件について、質疑等はあるか。</p> <p>なし</p> <p>2件の報告をする。</p> <p>① ダンシングフェロープシケから申請のあった「Fairry Land 2025」を始めとして、8件の事業に対して名義後援を承認した。</p> <p>なお、令和6年度の名義後援事業の申請は1年間で75件、そのうち承認したものが72件である。</p> <p>② 令和7年第1回新座市議会定例会の概要について報告する。会期は2月21日から3月27日までの35日間で、市長提出議案は、追加議案を含め56件であった。このうち教育委員会関連の議案は、令和6年度補正予算、令和7年度当初予算及び補正予算等予算案件が4件、第二中学校校舎長寿命化工事の変更契約、第四小学校及び池田小学校の校舎長寿命化改修工事の請負契約締結等契約案件が3件、児玉教育委員の任命に関する人事案件が1件、合計8件で、全て承認された。令和6年度新座市一般会計補正予算については、補正第10号で児童生徒用可動式コンピューターの修繕費や報酬等の増額、要保護及び準要保護児童生徒就学援助費や電気料などの不用額の減額を変更した。</p> <p>補正第11号では、第四小学校及び池田小学校長寿命化改修工事の工事契約が締結されたことにより令和6年度工事費分を減額した。補正の結果、令和6年度予算総額における教育費の占める割合は10.50%となった。</p> <p>続いて、令和7年度新座市一般会計予算について説明する。</p> <p>令和7年度の教育費は、103億183万8,000円となり、前年度と比較して27億3,779万8,000円の増額となった。予算総額に対して教育費の占める割合は16.0%となった。</p> <p>次に、令和7年度新座市一般会計補正予算（第1号）については、先ほど申し上げた第四小学校及び池田小学校長寿命化改修工事の工事契約が締結されたことによる差額分として、令和7年度工事費を減額した。また、物価高騰対応として学校給食費支援金1億1,484万3,000円を新たに計上した。補正の結果、令和7年度予算総額における教育費の占める割合は15.47%となった。</p> |
|------------|----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学務課長   | <p>令和7年4月1日現在の児童生徒数について報告する。</p> <p>昨年度の同時期との比較で、小学生は昨年度合計8,455名から、今年度は169名少ない8,286名となっております。中学生は昨年度合計4,190名から38名少ない4,152名、小中学生合わせますと、昨年度1万2,645名より207名少ない1万2,438名である。</p> <p>学級数は、小学校で昨年度332学級から2学級増の334学級となっている。そのうち特別支援学級は、昨年度45学級から51学級となっている。続いて、中学校は、昨年度131学級から2学級減の129学級となった。そのうち特別支援学級につきましては、昨年度19学級から20学級と1学級増となっている。全体では昨年度と同じ463学級でのスタートとなっている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 教育支援課長 | <p>報告に先立ち、4月8日に行われた市内小中学校の入学式において、教育委員の皆様には教育委員会からのお祝いの言葉や祝辞を御担当いただいたことにお礼を申し上げます。おかげさまで各校の入学式が滞りなく実施された。</p> <p>教育支援課からは4件の報告をする。</p> <p>① 令和7年度の学校教育部グランドデザインとなる、にいざ学校教育プランについて報告する。第4期埼玉県教育振興基本計画、新座市教育行政推進施策を受け、学力の定着、豊かな心の育成、体力の向上、家庭・地域との連携、文化芸術の推進の5つの指針により、今年度の教育活動を展開していく。展開するに当たっては、アグレッシブイノベーションの方針を継続しながら、急速に変化し続ける時代の要請に常に柔軟に対応することができるよう、また新座市ならではの、地域ならではの特色ある教育施策により、未来の社会を見通した持続可能なシステムの構築が実現するように、Createというキーワードを設定した。単なる創造にとどまらない未来志向の積極的な行動や変革により、子供たちの多様性の理解や、個に応じた支援の充実、生成AIを含めたICT環境のより積極的、効果的な活用等に挑戦し、新座市の未来を切り開いていく。</p> <p>本市の喫緊の課題である学力向上については、昨年度市内各校で順調な学力の伸びが確認できたことを受け、学習者の主体性を重視した授業づくりや、それを実現させるための教師の役割の見直しなどを視点とした授業改善を継続し、授業の質をより高めていく。</p> <p>② 令和7年度の行事予定について報告する。4月17日には、全国学力・学習状況調査が予定どおり各校で実施された。質問紙調査と中学校の理科については、各校が設定した日にCBTで実施する。本日までに21校が</p> |

|  |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|--|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | 教育相談センター室長 | <p>調査を終えた。明日の新座小と陣屋小の調査で、新座市は全ての調査が終了する予定である。</p> <p>5月8日、9日、13日には、埼玉県の学力・学習状況調査が実施される。本調査については、本年度も全てC B Tで実施する。端末の不具合に備えて、今年度は中学校を3日間の日程に分け、万全の体制で実施する。</p> <p>今年度の学校訪問については、5月12日の栄小学校からスタートし、1学期に8校、2学期に6校、3学期に9校実施する。</p> <p>市の委嘱研究については、2学期に3校、3学期に5校が研究の成果を発表する。期日が近づいたら、御案内をさせていただくので、御指導くださるようお願いする。</p> <p>修学旅行については、5月15日に第三中学校が出発予定である。小学校は、5月21日の片山小学校からスタートする。</p> <p>③ 令和6年度中学校卒業者の進路状況について、第3回の定例教育委員会で報告したが、その後の状況を報告する。進路を未定としていた卒業生の合格発表等があり、4月10日時点で高校進学率は99.1%となった。その他、専修・訓練校が5名、就職等が5名、進路未定は3名という状況である。</p> <p>④ 令和7年度小学校運動会・中学校体育祭及び学校公開日について報告する。今年度、小学校は10月25日に運動会を開催し、この日を学校公開日としているが、第四小学校と池田小学校については、長寿命化改修工事の関係で5月に運動会を開催する。中学校については、熱中症防止等の観点から、各校が設定した日程で体育祭を開催する。それに伴い、学校公開日も各校で設定し、主に合唱祭を開催する予定である。</p> <p>教育相談センターからは2件の報告をする。</p> <p>① 教育相談関係職員勤務条件等について報告する。スクールカウンセラーは、臨床心理士の資格を持つ専門家が面談によるカウンセリングを実施し、心理的な支援を行うものである。</p> <p>スクールソーシャルワーカーは、非行や問題行動など問題を抱える児童生徒への支援はもちろん、虐待などその児童生徒を取り巻く環境に直接的な働きかけを行うことを目的に活動するもので、平成22年度から県より配置されている。また、新座市スクールソーシャルワーカーは、令和6年度から3人配置しており、1人2校を担当し、担当している校区を定期的に回る、いわゆる巡回型として配置している。県スクールソーシャルワーカーは、各学校からの要請に応じて支援に当たる派遣型として配置している。双方が補い合うことにより、警察署や児童相談所等福祉機関との連携を一層図り、多面的な支</p> |
|--|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|  |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|--|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  | <p>援を行うことが期待できる。</p> <p>教育相談員は、教育相談室において午前１０時から午後６時までの間の１時間で、電話または面接による相談を行っている。１日７時間勤務で、週５日勤務の者２名、週４日勤務の者１名、週３日勤務の者１名、週２日勤務の者１名、計５名体制で対応している。</p> <p>学校カウンセラーは、児童生徒の発達やいじめ、集団不適應、不登校の問題等の解決を図るため、臨床心理に関して高度に専門的な知識、経験を有する３名を年間５０回、計１５０回教育相談室に配置している。各学校からの学校カウンセラー活用に係るニーズが多いことから、令和７年度も臨床心理士３名体制で対応する。</p> <p>さわやか相談員は、各中学校に１名ずつ計６名を配置し、生徒の悩みに寄り添う身近な相談員として活動を行っている。</p> <p>子どもと親の相談員は、いじめ、不登校等の心の問題の重要性に鑑み、児童、保護者との相談に応じるため、全ての小学校に子どもと親の相談員を配置している。相談員の全小学校配置は、新座市独自の制度である。学校のきめ細やかな支援策の一つとして欠くことができないほど定着している。学校からも、毎年回数を増やしてほしいという要望があったので、一昨年度まで週２日だったものを、昨年度より週３日程度に増やし、年間約１０５回の配置としている。</p> <p>校内支援ルームスタッフは、今年度より２名配置している。配置先は、新開小学校と池田小学校である。１日６時間勤務で、主に校内支援ルームのスタッフとして児童生徒の対応に当たっている</p> <p>特別支援教育関係職員については、今年度介助員１３名の児童生徒に対して１６名、特別支援教育支援員を４０名配置している。また、日本語指導教室が毎年増えている状況であり、日本語指導員を第四小学校に１人、新座小に１名配置している。</p> <p>② 市立小中学校特別支援学級等在籍児童生徒数について報告する。小学校在籍児童数が４０名増の２６０名、中学校の在籍生徒数が１名増の１０１名となっている。市内全校に特別支援学級を設置しており、小学校が５１学級、中学校が２０学級となっている。</p> <p>通級指導教室は、きこえとことばの教室を八石小、新開小学校に設置している。また、発達・情緒のふらねっとルームは、小学校は新座小学校と野寺小学校、新堀小学校に加え、石神小学校、東野小学校にも新たに設置した。中学校は、第三中学校、第四中学校に加え、第六中学校にも設置した。なお、中学校については、各校を担当教諭が回る巡回型で指導を行っている。今年度から小学校においても、人数が多い栗原小学校と新開小学校も</p> |
|--|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|     |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| その他 | 教育長<br>委員 | 巡回指導の対象校となった。今後も多様な学びの場として、通級指導教室の増設を進めていきたい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|     | 学務課長      | <p>諸報告に対する質疑、意見はあるか。</p> <p>少子化が進んでいる、人数が全体的には下がっているという報告あったが、一方で都市化も進んでいるとも思っている。特に第二中学校は1,000人を超えている現状だと思うが、第二中学校の生徒数の増加に伴う対応について伺いたい。</p> <p>これから令和12年度まで、現在の在籍を基にした児童生徒数の推計を出しており、それによると、特に現状の規模で教育活動が展開できないところまでは増える見通しではないと確認が取れている。ただ、指定校変更等で第二中学校区に別の校区から希望が出た場合、認められない状況で、そういった通学区の指定校変更の希望に関してはある程度コントロールする必要があるが、見通しとしては、現状の学区であふれるということはないという状況である。</p> |
|     | 委員        | マンションの建設が進むところがあると思うが、その辺も検討するのか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|     | 学務課長      | 今後また大きなマンションの建設も予定されているようなので、情報収集しながら、精査していきたい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|     | 教育長       | ゼロ歳児からの統計は正確にはかれるが、途中から都市開発でマンションが新しくできた時の児童の出現率がどれくらいかというのがなかなか推測困難な状況である。志木駅前に2棟建設中のマンションがあるが、駅前という立地に鑑みると、これまでの傾向からそんなに増えないと思う。周辺では一戸建ては若干減っているという状況もあるので、収容できなくなるようなことは、まずないかなと思う。もしそういうことであれば、学区の変更も含めて対応しなければいけないかなと思う。                                                                                                                                       |
|     | 教育総務課長    | <p>「新座市立小・中学校適正配置等検討会議設置要綱」について追加で報告する。本日、政策推進本部が開催され、教育委員会内に市立小中学校の適正配置、適正規模について検討を行うことを目的とし、新座市立小・中学校適正配置等検討会議の設置が決まったことを報告する。</p> <p>新座市では、現在公共施設再配置計画を本年度中に策定するため、検討を進めているところであるが、学校施設は施設全体の6割を占めることから、今後の教育方針に合わせ、学校施設の適正配置、適正規模について方向性を示すことが求められている。本検討会議では、適正規模、適正配置の根拠となる基本的な教育方針も併せて検討を行い、本年8月末までに一定の方向性を示すことを目的としている。</p> <p>会議体の組織は、要綱の第3条のとおりである。委員</p> |



|  |                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--|----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <p>教育長</p> <p>教育相談センター室長</p> <p>教育長</p> <p>教育相談センター室長</p> <p>教育長</p> | <p>長は、教育総務部長としている。</p> <p>今後の進捗については、定例教育委員会の中で報告を行い、教育委員の皆様からの御意見も伺いながら進めていきたいと考えている。</p> <p>新座市立小・中学校適正配置等検討会議を設置することである。これからの審議になると思うが、実は学校のスタイルというか、制度も、いわゆる6・3制から、小中一貫の義務教育学校のような学校が全国的に増えてきている状況である。近隣の志木市では、第二中学校と第四、第二小学校の3校を1校にして義務教育学校にしようとする準備が進められているところである。埼玉県内の北部では児童数が減少してきて、統合という形を取っているとか、統合する際に今の制度ではなくて、義務教育学校という形で中学校と小学校を併合して1つにまとめていくという方式が取られているところが非常に多く出てきている。そういった学校制度の変化も含めて、新座の学校の在り方を再検討していこうという審議会、会議であるので、また進捗状況等は定例会で御報告していきたいと思う。</p> <p>本市はそんなに激しく人口減になることはないと思うが、一部で単学級になる学校が出てくる可能性がある。そういう学校をどうするかという、つまり1年生から6年生までほとんどクラス替えがないような状況は、本当に教育効果として好ましいのかどうかということも含めて、検討する必要があるかなというふうに思う。こうした検討会議をあらかじめ設置をして、先手を打っていくとか、そういう形で進めていきたいと思う。</p> <p>相談センターから、1件追加で報告する。</p> <p>昨日、道場集会所で活動しているフリースクールムササビルームの代表の方とお会いした。今まで新座市は、不登校対策として教育支援ルームを2か所設置していた。第4庁舎の「ふれあいルーム」と、十文字学園女子大学の「とことこぷらすのへや」である。南部地区で教育支援ルームが立ち上がらないのか、かねてから課題となっていたが、無料のフリースクールであるムササビルームを週に1回、水曜日に新座市の教育支援ルームとして開設できるということでお約束ができたので、5月から運用していきたい。</p> <p>集会所を使って、不登校の子供たちが通えるような施設をつくるということであるが、既に活動しているのか。既に活動している。</p> <p>議会でいつも南部のほうに施設がないと御指摘を受けている。道場は南部ではないが、市の中央付近に1か所設置できるということである。</p> <p>このほか不登校対策として、学校の中に子供たちの居</p> |
|--|----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|    |                                 |                                                                                                                                                        |
|----|---------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 閉会 | 教育相談センター室長<br>教育長               | 場所をつくろうということで校内支援ルームを設置していると思うが、今は3か所か。<br>第二中学校、第五中学校、池田小学校、新開小学校の4か所である<br>不登校のいない学校はそのような施設は要らないが、少しずつ増やしていきたいなと考えている。そこに支援員みたいな指導員を置いているのか。        |
|    | 教育相談センター室長<br>教育長               | 今は、小学校の2校に配置している。                                                                                                                                      |
|    | 教育相談センター室長                      | 市で雇用した会計年度任用職員を配置し、あとは、先生方に面倒見てもらっているという状況か。                                                                                                           |
|    | 教育長                             | 第二中学校と第五中学校においては、教職員の持ち時数を見ながら、時間割のように組んで対応したり、あとはさわやか相談員や支援員を交互に配置して対応している。                                                                           |
|    | 教育相談センター室長<br>教育長<br>教育相談センター室長 | 十文字学園女子大学の「とことこぷらすのへや」は学生が対応しているのか。<br>十文字学園女子大学の教授と学生とふれあいルームの会計年度の相談員が1人対応している。<br>ムササビルームは誰が運営しているのか。                                               |
|    | 委員                              | ムササビルームはもともとフリースクールとして運営している組織である。新座市だけではなく、和光市や朝霞市の子供たちを広く受け入れているところである。活動について助成金をもらっており、新座市から会計年度職員を派遣はしていない。教育支援ルームとしてやっていきたいという代表の方の思いもあり、連携を開始した。 |
|    | 教育相談センター室長                      | 不登校の子が使えるというところまで来たということですが、もし何か問題が起きたときに、保護者の方はどこに相談できるのか。                                                                                            |
|    | 委員<br>教育相談センター室長<br>教育長         | 一応教育支援ルームの「とことこぷらす」とか「ふれあいルーム」で起きている怪我についても、子供たちが加入しているスポーツ保険が使えることになっている。<br>「ムササビルーム」でもできるということか。<br>確認する。                                           |
|    |                                 | その他に特になければ、次回の会議日程を確認する。<br>令和7年第5回定例会を令和7年5月22日木曜日、午後3時から市役所第二庁舎1階の市民ギャラリーで開催する。                                                                      |
|    | 教育長                             | これをもって、令和7年第4回新座市定例教育委員会を閉会する。<br><br>午後3時47分                                                                                                          |

以上、会議の顛末を記載し、その相違なきことを証するため署名する。

教 育 長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員

書 記